

8月18日

# 勝共映画

都倉氏一氏(文化庁  
ホームページからの転載)

作曲家で文化庁長官の都倉氏一氏(52)が、統一協会(都・世界平和統一家庭連合)の政治組織「国際勝共連合」による「スパイ防止法」(国家機密法)制定運動の一環として、1987年に製作された映画で音楽を担当していたことが17日、本紙の調べで分かった。当時は靈感商法の被害が急拡大した時期でもあり、都倉氏の詮解責任が問われます。

(統一協会取材班)

87年6月23日、東京商工会議所のホールに約6000人を集め、上映会が開かれました。映画のタイトルは「暗号名 黒猫を追え!」。岸信介元首相が会長を務めた「スパイ防止のための法律制定促進議員有識者懇談会」関組「思想新聞」(88年1月1日付)で、同法制定運動を広めて上院会が開かれました。映画が共催しました。同会議は2008年に映画をDVD化して宣伝・販売。出演者やストーリーをホームページ掲載。その中で「音楽は都倉氏一氏が担当」と紹介してしまいました。

87年6月23日、東京商工会議所のホールに約6000人を集め、上映会が開かれました。映画が共催しました。同会議は2008年に映画をDVD化して宣伝・販売。出演者やストーリーをホームページ掲載。その中で「音楽は都倉氏一氏が担当」と紹介してしまいました。

## 法案の復活へ製作

都倉氏は「週刊新潮」(2000年6月26日号)のコラムで、

「都倉氏を中心としたこの法律を復活させたい」という想いがあり、その支持組織からもこの映画の製作に援助があったらしく。そういう意味では製作費は潤沢で(中略)音楽制作予算も「つもりもなかった」私も驚いたほどである。



がかかるもとで監禁に追い込まれました。監禁返しを考えた勝共連合の河西徹太郎総長(当時)は機いあす。

## 87年の靈感商法急拡大時 現文化庁長官

# 国家機密法制定狙う運動加担

個人活動と言つては答へず、「現在の文化行政のいかなる業務にも何り影響を与えておりません」と述べています。

映画が製作された当時は、靈感商法が制定しあったが、出版・論議・報道の自由を侵蝕するとの批判が広がるもとで監禁に追い込まれました。監禁返しを考えた勝共連合の河西徹太郎総長(当時)は機いあす。

87年6月23日(土)の午後4時、映画を群衆へ紹介。監督の井上梅次氏から連絡を受けて「音楽を担当する」となりたと振り返っています。スパイ防止法の制定を推進する映画だったことは「あとで知った」とした上で、よく述べて

### 映画「暗号名 黒猫を追え！」

「スパイ天国」日本社会の裏側で、密かに繰り広げられる熾烈な諜報戦の真実



映画「暗号名 黒猫を追え！」は「映画に關しては約40年前の

「都倉氏を中心としたこの法律を復活させたい」という想いがあり、その支持組織からもこの映画の製作に援助があったらしく。そういう意味では製作費は潤沢で(中略)音楽制作予算も「つもりもなかった」私も驚いたほどである。

映画が製作された当時は、靈感商法が制定しあったが、出版・論議・報道の自由を侵蝕するとの批判が広がるもとで監禁に追い込まれました。監禁返しを考えた勝共連合の河西徹太郎総長(当時)は機いあす。

87年6月23日(土)の午後4時、映画を群衆へ紹介。監督の井上梅次氏から連絡を受けて「音楽を担当する」となりたと振り返っています。スパイ防止法の制定を推進する映画だったことは「あとで知った」とした上で、よく述べて

# 音楽を担当